

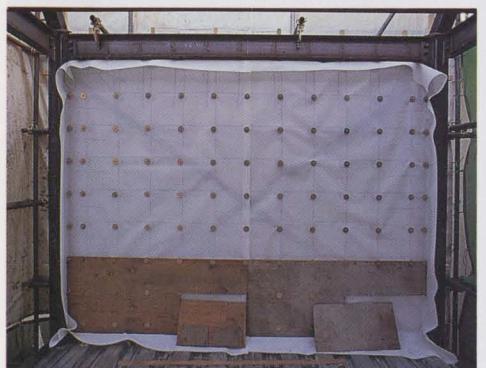
鳴草庵におけるURC工法のプロセス



①工事状況



②玄関部の外壁



③2階居間

①道路斜線、北側斜線で複雑な形を強いられた。玄関側のネット型枠の鉄筋が見えている

②ここでは両面にネットを使用。断熱は内側コンクリート表面をウレタン吹付けとしている。他と同様断熱ボードを使った方が合理的だったかもしれない。外側に膨らみを出したかったのでここだけ内断熱。背筋はここではシングル。

鉄筋は鉄筋支持具のツメを曲げるだけで固定できる(海建築家工房開発)。これを使うことでかぶり厚さが確実にとれる

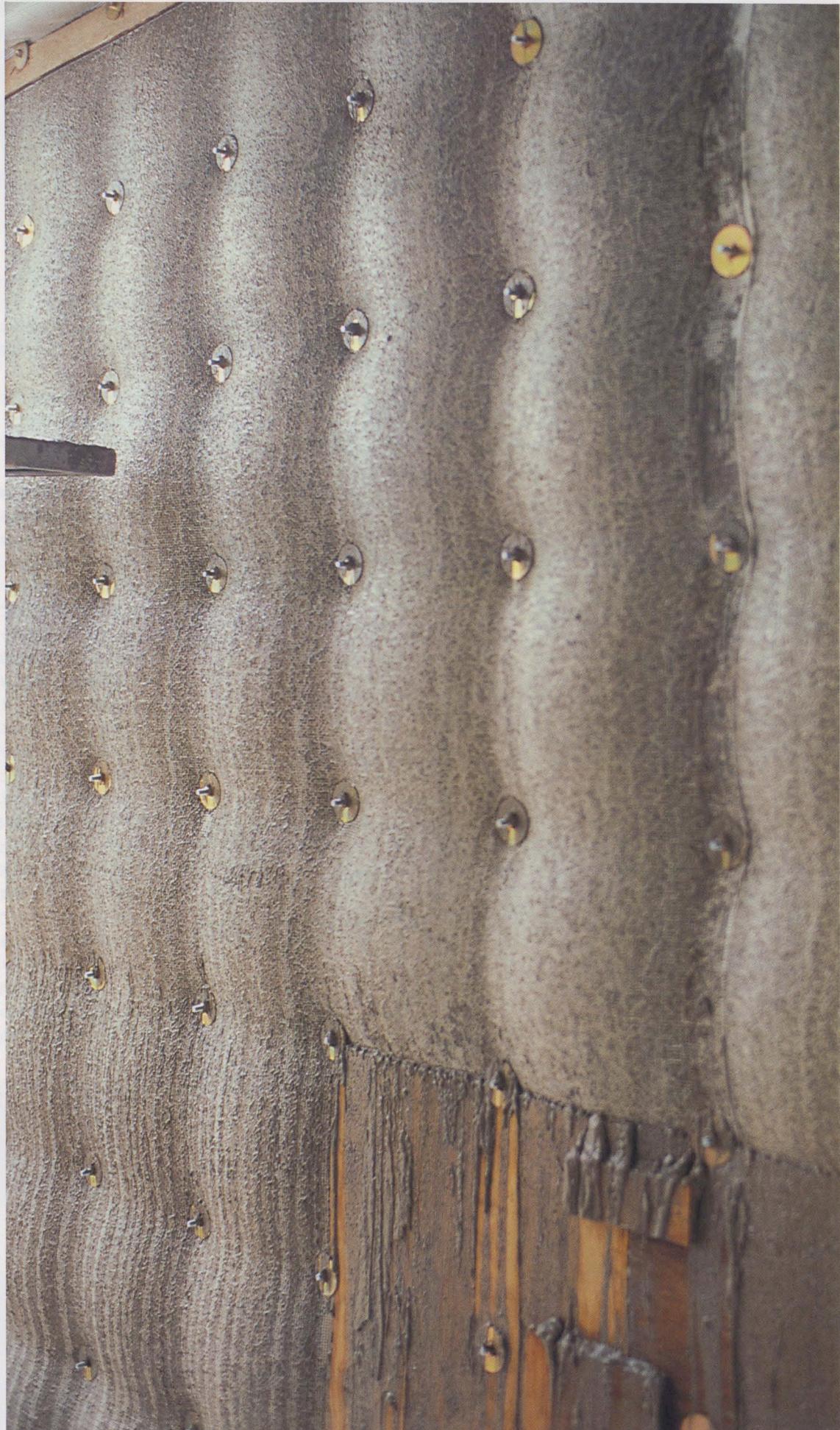
③ネットを張り終わったところ。この部分は外側型枠に断熱材を使った外断熱部である

124頁～125頁写真＝山下恒徳

協力=TOTO



④コンクリートを打ち込んでいるところ／どこまでコンクリートが入っているか一目瞭然。ジャンカはまずできない



⑤コンクリートを打ち終わったところ／ノロがにじみ出た後、余剰水がしみ出てくるが、これがノロを洗い流してくれる。余剰水が出てくれることで高強度のコンクリートとなりひび割れもない

